

公開座談会「国際交流の活性化に向けて」

1月31日、NPO、行政、研究者とそれぞれの立場でご活躍の有田典代氏、松本義弘氏、毛受敏浩氏という豊富な経験と知識をお持ちの3名をお迎えし、公開座談会「国際交流の活性化に向けて～地方自治体、国際交流団体が目指すべき方向性～」を開催いたしました。

年度末の忙しい中、45名もの参加をいただき、今回のテーマへの関心の深さが窺われました。まず国際交流の現状から課題を探り、成功事例や国際交流の意義を踏まえた上で、これから求められる国際交流の姿はどのようなものか、そのためにはどのような取り組みをすればいいのかを考えました。

有田氏は国際交流にかかる民間組織の役割や課題、ネットワークを構築することの重要性などについて話されました。松本氏は横須賀カレー祭りにおける自治体と国際交流団体との事業連携や、商業活動を巻き込んだキッズフェスティバルの具体例を通じて、都市経営の中に国際交流をどう生かすかについてわかりやすく語ったほか、職員の心構えなどを話されました。毛受氏は今の国際交流の停滞状況を夜明け前と評し、国際交流を地域社会にイノベーションを起こす道具として使うことなどを話されました。

【参加者の声】

「立ち位置が微妙な当市の国際交流協会の今後について、国際交流の専門性や官民連携の中に組み込むなど、いくつかの方向性を見出すことができた」

「国際交流の目指すところが変わってきているのを実感した」

「課題や方向性が整理できた」

なお、この座談会の模様は、「自治体国際化フォーラム 5月号」の特集記事として掲載いたします。ぜひご覧ください。

また、国際交流の活性化のため、今後、実施して欲しい企画がございましたら交流親善課までお知らせください。

【出席者】

有田 典代 氏 ((特活) 関西国際交流団体協議会 前事務局長)

松本 義弘 氏 (横須賀市国際交流課 上席課長)

毛受 敏浩 氏 ((財) 日本国際交流センター チーフ・プログラムオフィサー)

【問合せ先】

(財)自治体国際化協会 交流親善課 (担当: 秋山、木林)

TEL: 03-5213-1723 FAX: 03-5213-1742 E-mail: shimai@clair.or.jp